

秋田屋本店とリトアニアの輸出業者
ハチミツ普及へ覚書
現地で調印式、生産でも協力

【カウナス＝本社鈴木隆宏】養蜂・食品製造の秋田屋本店(岐阜市加納富士町、中村正社長)は7日、リトアニア・カウナス市役所で現地のハチミツ輸出業者リエトヴィスカス・メドスとリトアニア産ハチミツの日本での普及を図る覚書を締結した。秋田屋がリエトヴィスカスからハチミツを輸入して日本で販売するほか、日本人の好みに合うリトアニア産ハチミツの生産について互いに協力する。

中村社長とリエトヴィスカスのダフトヴィーダス・ブロズネリス社長が覚書に調印した。秋田屋は12月までをめぐりにハチミツ約10トリエトヴィスカスから輸入する。中村社長は県商工会議所連合会(村瀬幸雄会長)と岐阜商工会議所の合同経済視察団のメンバーとして5日からリトアニアを訪問。現地で河合孝憲副知事らも合流した。調印式に立ち会ったカウ

ナス市長のヴィスヴァルダス・マティヨシャイティス氏は「経済の交流ができる場をつくっていただき、ありがたい」とあいさつ。村瀬会長は「事前に準備をしてきた成果が今回の調印。これを経済交流のスタートにしていきたい」と語り、河合副知事は「早速合意に至ったのは、大変喜ばしいこと」と祝辞を述べた。中村社長は「村瀬会長がリトアニアから持ち帰ったハチミツを調査したのがきっかけ。天然の世界に誇れるリトアニア産のハチミツを日本で飲んでもらいたい」と話していた。



覚書に調印した中村正社長(左から3人目)とダフトヴィーダス・ブロズネリス社長(同4人目)＝7日、リトアニア・カウナス市役所

同視察団と河合副知事らはこの日、リトアニアのネリス・ゲルマナス外務副大臣らと面談。カウナス市の企業との交流会も行った。